高知県の経済概況

作成日
R7.8.4
統計分析課

作成時点で公表されている県内経済に関係の深い指標を使い、下記8分野別に経済概況を取りまとめました。

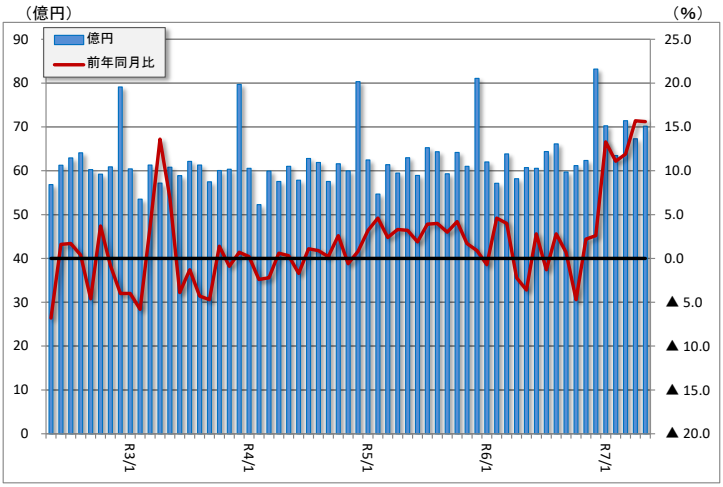
＜分野別の動向＞

項目	動向　※特に断りのない限り、指標の増減は対前年同月比を指す	ページ
消 費	・百貨店・スーパー販売額は、7ヵ月連続のプラスとなった。 ・コンビニエンスストア販売額は、3ヵ月連続のプラスとなった。	P.1
観 光	・観光施設入込客数は、14ヵ月ぶりのプラスとなった。	P.2
投 資	・住宅投資は、2ヵ月連続のマイナスとなった。 ・建築投資（住宅及び公務を除く）は、3ヵ月ぶりのマイナスとなった。 ・公共投資は、2ヵ月ぶりのプラスとなった。	P.3
生 産	・製造業の生産は、2ヵ月連続の前月比プラスとなった。	P.4
雇用・所得	・有効求人数（原数値）は、24ヵ月連続のマイナスとなった。 ・有効求人倍率（季調値）は、1.14倍と前月比上昇となった。 ・現金給与総額指数（名目）は、24ヵ月ぶりのマイナスとなった。	P.5
物 価	・総合、生鮮食品を除く総合、生鮮食品及びエネルギーを除く総合ともにプラスとなった。	P.8
金 融	・国内銀行の県内貸出残高は、プラスとなった。 ・貸出約定平均金利は、前月差プラスとなった。	P.9
倒 産	・企業倒産は、前月比で件数は減少、負債総額は増加となった。	P.9

消　費

・百貨店・スーパー販売額は、7ヵ月連続のプラスとなった。
・コンビニエンスストア販売額は、3ヵ月連続のプラスとなった。

1　百貨店・スーパー（5月）



（四国経済産業局）

結果概要

「飲食料品」、「その他の商品」、「家庭用品」などが前年を上回り、全体では7ヵ月連続のプラスとなった。

＜全体＞
・70億2千万円。前年同月比＋15.6%（35店舗）。
・7ヵ月連続のプラス。

（億円・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
販売額	83.2	70.3	63.5	71.4	67.3	70.2
前年同月比	2.6	13.3	11.1	11.9	15.7	15.6

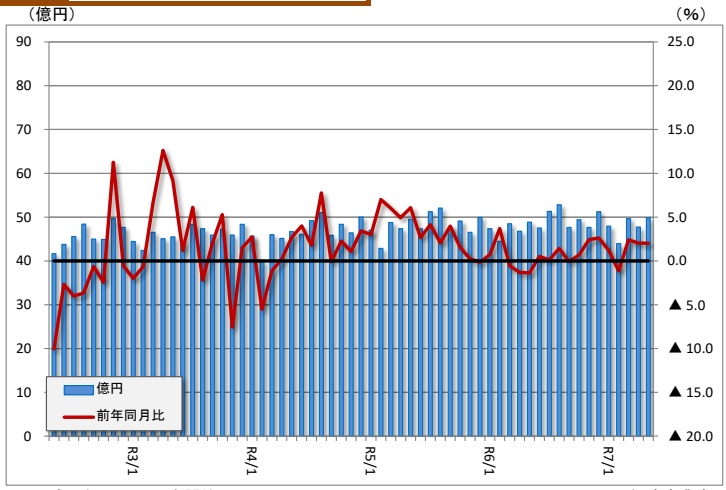
※　R2年3月以降の前年同月比については、推計方法が変更されたため、実数で計算した値と異なる場合があります。

指標解説

・売場面積が1500m2以上の百貨店とスーパーの販売額。

・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されている。

2　コンビニエンスストア（5月）



※平成27年7月より公表開始。　（経済産業省）

結果概要

＜全体＞
・49億8千万円。前年同月比＋2.0%（284店舗）。
・3ヵ月連続のプラス。

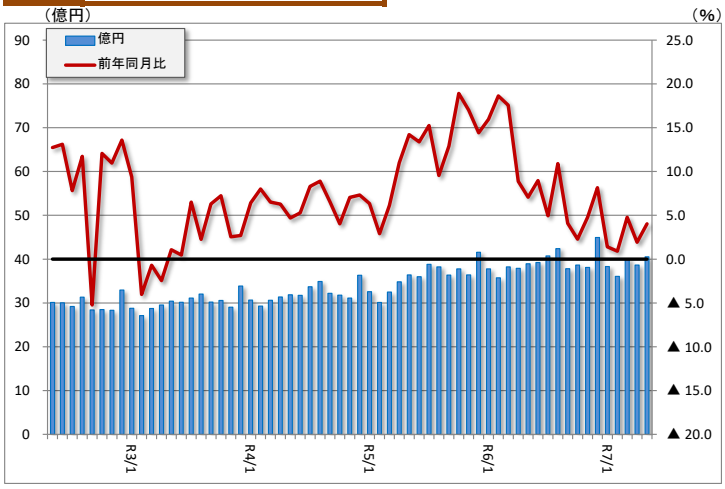
（億円・店・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
販売額	51.2	48.0	44.0	49.7	47.7	49.8
前年同月比	2.6	1.2	▲ 1.1	2.4	2.0	2.0
店舗数	283	283	287	285	284	284
前年同月比	▲ 0.7	▲ 0.7	0.7	1.1	0.7	1.1

指標解説

・直営やフランチャイズ・チェーン店などの形態に関係なく、全国に500店舗以上を有するコンビニの県内販売額。

3　ドラッグストア（5月）



※平成26年1月より公表開始。　（経済産業省）

結果概要

＜全体＞
・40億5千万円。前年同月比＋4.0%（108店舗）。
・49ヵ月連続のプラス。

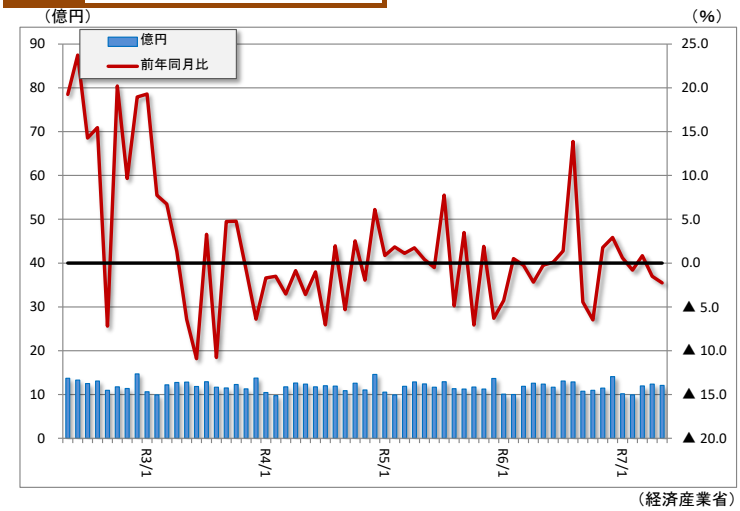
（億円・店・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
販売額	45.0	38.3	36.1	40.0	38.6	40.5
前年同月比	8.2	1.4	0.9	4.8	1.9	4.0
店舗数	104	104	104	105	108	108
前年同月比	0.0	0.0	1.0	1.0	3.8	3.8

指標解説

・全国で50店舗以上有するもしくは販売額が100億円以上のドラックストアの県内販売額。

4 ホームセンター（５月）



（経済産業省）

結果概要

＜全体＞
- **12億1千万円。前年同月比▲2.3%（41店舗）。**
- **2ヵ月連続のマイナス。**

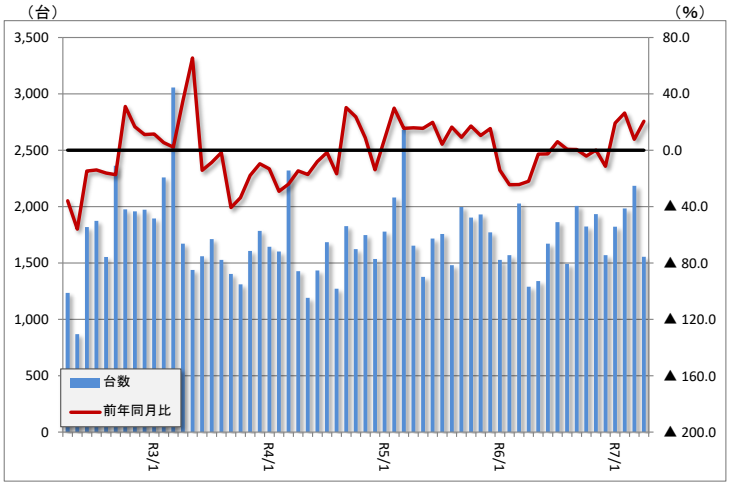
（億円・店・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
販売額	14.1	10.2	9.9	12.0	12.4	12.1
前年同月比	2.9	0.6	▲ 0.8	0.8	▲ 1.5	▲ 2.3
店舗数	41	41	41	41	41	41
前年同月比	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

指標解説

・全国で10店舗以上有するもしくは販売額が200億円以上のホームセンターの県内販売額。

5 新車登録・届出台数（4月）



（四国運輸局）

結果概要

登録車は4ヵ月連続のプラスとなり、軽乗用車は4ヵ月連続のプラスとなった。

＜全体＞
- **1,555台（普通550、小型306、軽699）。**
- **前年同月比＋20.6%。**
- **4ヵ月連続のプラス。**

＜車種別＞
- **登録車 ：＋6.2%（4ヵ月連続のプラス）**
- **軽乗用車 ：＋44.7%（4ヵ月連続のプラス）**

（台・%）

	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4
新車登録・届出	1,933	1,569	1,822	1,984	2,185	1,555
前年同月比	0.1	▲ 11.5	19.2	26.4	7.7	20.6

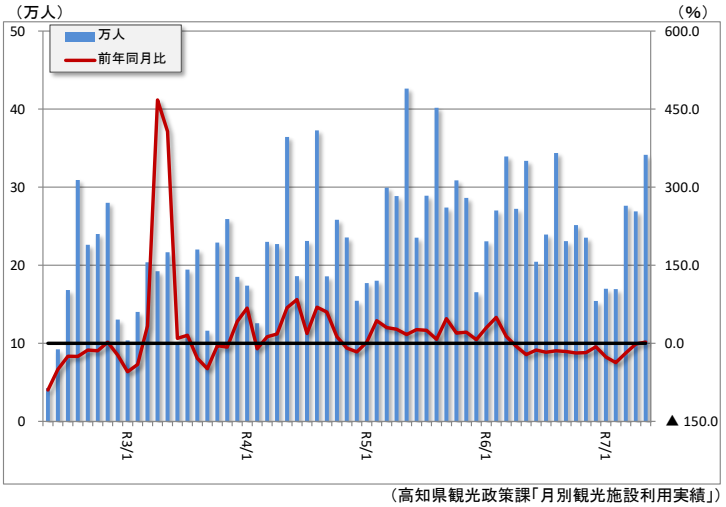
指標解説

・普通乗用車（3ナンバー）、小型乗用車（5、7ナンバー）の登録台数と軽乗用車の届出台数を合計したもの。
・景気の悪化による、個人消費の落ち込みや消費マインドの委縮は高額商品である登録車（乗用車）の販売台数に反映される傾向がある。
・景気動向指数の「先行指標」の系列に採用されることが多い。

観　光

・観光施設入込客数は、14ヵ月ぶりのプラスとなった。

1 主要観光施設入込客数（5月）



（高知県観光政策課「月別観光施設利用実績」）

結果概要

＜全体＞
- **34万1千人。前年同月比＋2.3%。**
- **14ヵ月ぶりのプラス。**

（万人・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
入込客数	15.4	17.0	16.9	27.6	26.9	34.1
前年同月比	▲ 6.8	▲ 26.4	▲ 37.3	▲ 18.6	▲ 1.2	2.3

＜参考＞県外観光客入込数（観光政策課）　（万人）

	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
県外客数	438.8	266.7	267.2	370.7	472.2	445.4

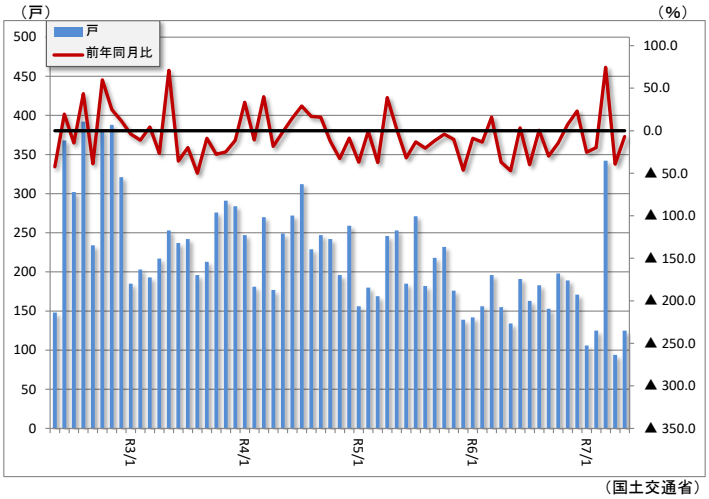
指標解説

・県内主要観光施設の利用者数（64施設）。
＜参考＞高知県における博覧会、キャンペーン等
・観光キャンペーン
　☆「どっぷり高知旅」 R6/4～R10/3
・観光博覧会
　☆「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」 R5/3～R6/3
・リョーマの休日～人熱々料理～
　☆「あなたの新休日 高知の味曜日」 R4/1～R5/3

投　資

・住宅投資は、2ヵ月連続のマイナスとなった。
・建築投資（住宅及び公務を除く）は、3ヵ月ぶりのマイナスとなった。
・公共投資は、2ヵ月ぶりのプラスとなった。

1　新設住宅着工戸数（5月）



（国土交通省）

結果概要

分譲住宅で増加したものの、持家、貸家で減少し、全体では2ヵ月連続のマイナスとなった。

＜全体＞
・125戸。前年同月比▲6.7%。
・2ヵ月連続のマイナス。

（戸・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
着工戸数	171	106	125	342	94	125
前年同月比	23.0	▲ 25.4	▲ 19.9	74.5	▲ 39.4	▲ 6.7

＜参考＞　（戸）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
着工戸数	3,234	3,412	2,907	2,688	2,396	2,110

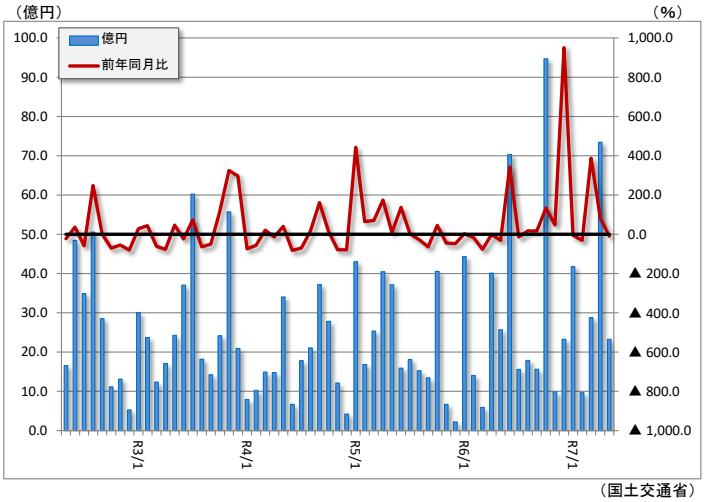
指標解説

・床面積10m2以上の住宅（持家、貸家、給与住宅、分譲住宅）の着工数。

・住宅は多くの設備や部品を使われるため、関連産業の裾野が広く、景気の影響を受けやすい。

・景気動向指数の先行指標の系列に採用されることが多い。

2　用途別着工建築物工事代金（5月）



（国土交通省）

結果概要

「医療・福祉」、「卸・小売」などで増加したものの、「教育・学習支援」、「製造業」などで減少し、全体では3ヵ月ぶりのマイナスとなった。

＜全体＞
・23億2千万円。前年同月比▲9.4%。
・3ヵ月ぶりのマイナス。

（億円・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
工事金額	23.3	41.8	9.6	28.8	73.4	23.2
前年同月比	950.1	▲ 5.8	▲ 31.4	388.2	83.1	▲ 9.4

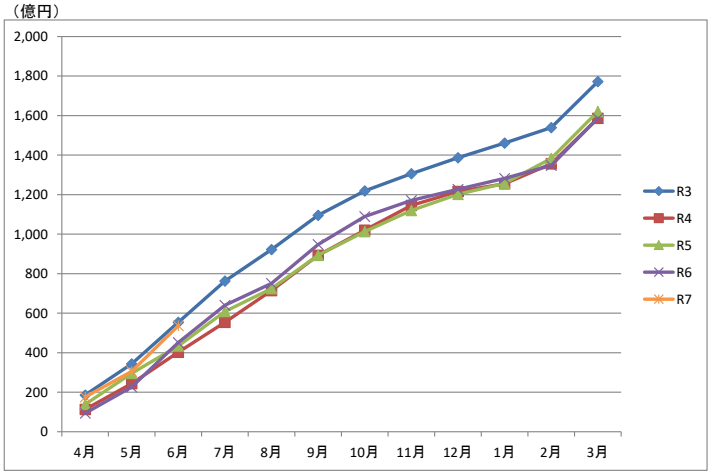
指標解説

・工事に着手した新築、増築又は改築に係る床面積10m2以上の産業（製造業、卸売小売業など）の用に供される建築物の工事金額。

・民間企業を中心とした建築投資の状況を知ることができる。

3　公共工事前払保証請負金額（6月）

単月では、その他（独立行政法人等）でマイナスとなったが、国、県、市町村でプラスとなり、全体では2ヵ月ぶりのプラスとなった。
累計では、国、県、市町村、その他（独立行政法人等）ともにプラスとなった。



（西日本建設業保証（株）高知支店）

結果概要

＜単月＞
・232億円。前年同月比＋3.0%。
・2ヵ月ぶりのプラス。
＜累計＞
・537億円。前年同月比＋19.1%。
・3ヵ月連続のプラス。

（億円・%）

	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5	R7/6
単月	55	66	238	176	130	232
前年同月比	0.5	▲ 47.6	0.2	87.6	▲ 2.2	3.0
累計	1,282	1,348	1,587	176	305	537
前年同月比	2.0	▲ 2.5	▲ 2.1	87.6	35.0	19.1

H28年度1,746億円　H29年度1,578億円　H30年度1,521億円
R元年度1,780億円　R２年度1,713億円　R3年度1,772億円
R４年度1,586億円　R５年度1,621億円　R6年度1,348億円

指標解説

・西日本建設業保証（株）高知支店の保証により、前払金が支払われた公共工事の請負金額。

・高知県の公共工事に対する保証対象の請負金額のシェアは、70%程度と推定されている。

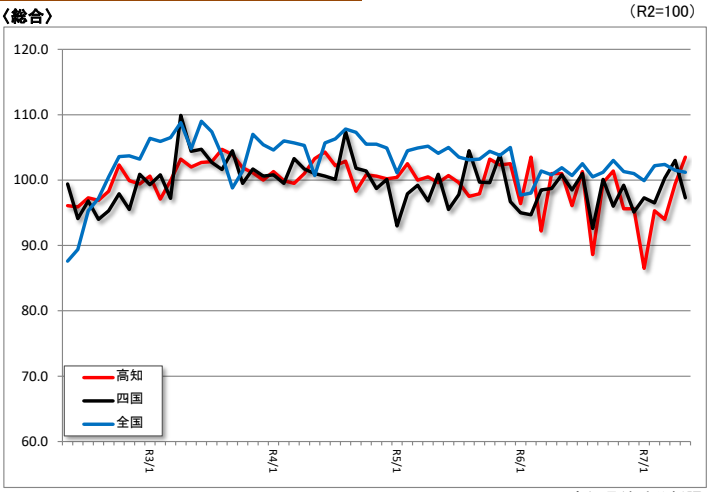
生　産

・製造業の生産は、2ヵ月連続の前月比プラスとなった。

1　鉱工業生産指数（5月）

〈総合〉

（R2=100）



（高知県統計分析課）

結果概要

前月比では、高知はプラス、四国、全国はマイナスとなった。
「電気機械工業」、「金属製品工業」などで前月を下回ったものの、「その他の工業」、「機械工業」などで前月を上回った。

・季節調整済指数は103.5。前月比＋4.1%。
・原指数は99.8。前年同月比＋2.7%。

（R2=100）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
高知県	95.6	86.5	95.3	94.0	99.4	103.5
四国	95.1	97.3	96.5	100.3	103.0	97.3
全国	101.0	99.9	102.2	102.4	101.5	101.2

※　四国の最新月は速報値。
※　年間補正（前年の指数の再計算）により、従来の公表値とは異なる場合があります。

指標解説

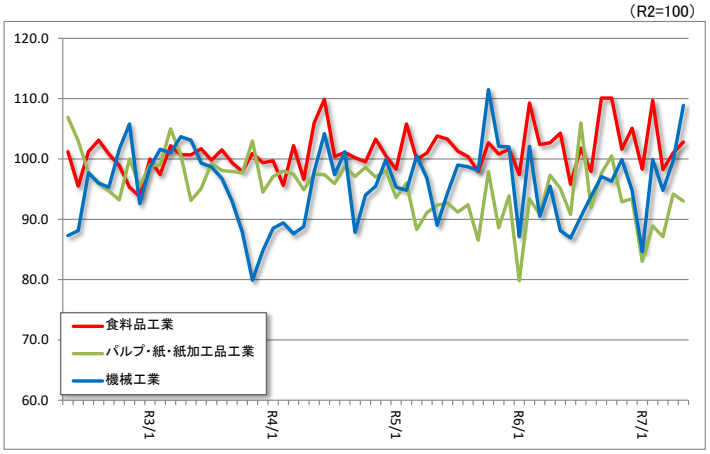
・鉱業、製造業に属する企業の生産活動状況を示すものとして作成されている。

・速報性があり、景況感を測る指標としても利用されることがある。

・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されている。

〈主要３業種〉

（R2=100）



（高知県統計分析課）

結果概要

前月比では、「パルプ・紙・紙加工品工業」はマイナスとなったが、「機械工業」、「食料品工業」はプラスとなった。

・機械工業の季節調整済指数は108.9
前月比＋9.2%　（原指数）前年同月比＋4.3%

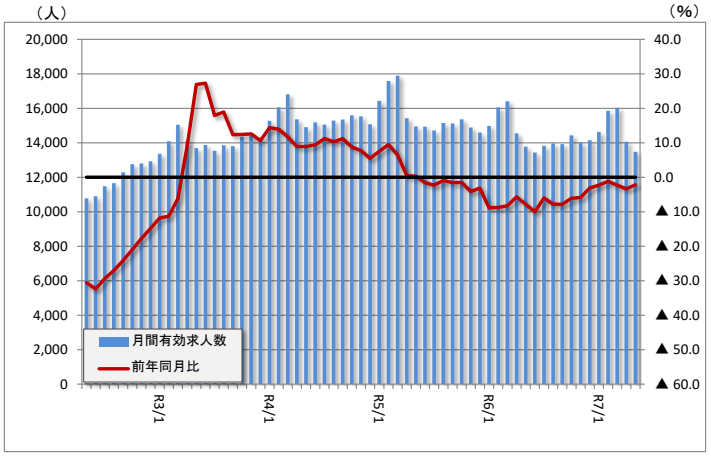
・ﾊﾟﾙﾌﾟ・紙・紙加工品工業の季節調整済指数は93.0
前月比▲1.3%　（原指数）前年同月比▲3.2%

・食料品工業の季節調整済指数は102.8
前月比＋1.8%　（原指数）前年同月比▲2.1%

雇用・所得	・有効求人数（原数値）は、24ヵ月連続のマイナスとなった。 ・有効求人倍率（季調値）は、1.14倍と前月比上昇となった。 ・現金給与総額指数（名目）は、24ヵ月ぶりのマイナスとなった。

1 求人数（5月）

＜有効求人数（原数値）＞



（高知労働局）

結果概要

＜全体＞
・13,473人。前年同月比▲2.2%。
・24ヵ月連続のマイナス。

（人・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
有効求人数	14,143	14,636	15,855	16,030	14,059	13,473
前年同月比	▲ 3.1	▲ 2.3	▲ 1.2	▲ 2.3	▲ 3.4	▲ 2.2

＜参考＞

（人）

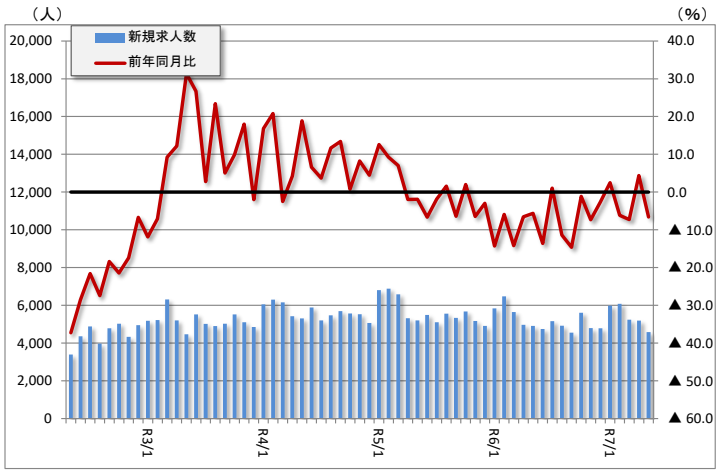
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有効求人数	15,852	12,584	14,505	15,769	15,214	14,383

※年度の数値は月平均。

指標解説

・公共職業安定所（ハローワーク）が扱う「前月から繰越された求人数」と当月の「新規求人数」の合計数。

＜新規求人数（学卒除きパートタイム含む、原数値）＞



（高知労働局）

結果概要

「運輸業，郵便業」、「宿泊業，飲食サービス業」などで増加したものの、「学術研究，専門・技術サービス業」、「サービス業」などで減少した。

＜全体＞
・4,584人。前年同月比▲6.6%。
・2ヵ月ぶりのマイナス。

（人・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
新規求人数	4,782	5,978	6,075	5,239	5,187	4,584
前年同月比	▲ 2.6	2.5	▲ 6.2	▲ 7.3	4.4	▲ 6.6

＜参考＞

（人）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
新規求人数	5,800	4,752	5,342	5,784	5,476	5,144

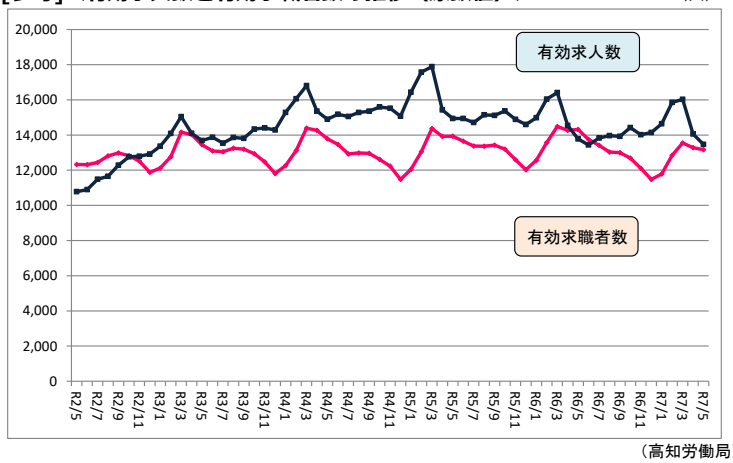
※年度の数値は月平均。

指標解説

・公共職業安定所（ハローワーク）が扱うその月のうちに新たに受けた求人数（採用予定人員）。

・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されている。

[参考]＜有効求人数と有効求職者数の推移（原数値）＞



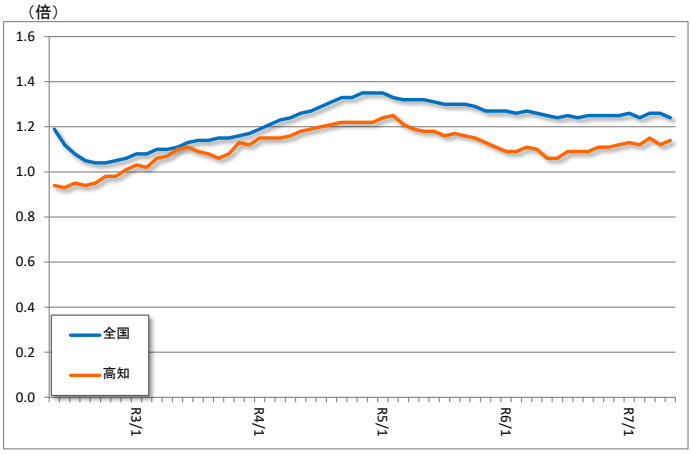
（高知労働局）

結果概要

（人）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
有効求職者数	11,476	11,787	12,843	13,546	13,284	13,165
有効求人数	14,143	14,636	15,855	16,030	14,059	13,473

2 有効求人倍率（季調値）（5月）



（高知労働局）

結果概要

＜全体＞
・1.14倍。
・前月差＋0.02ポイント。

（倍）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
高知県	1.12	1.13	1.12	1.15	1.12	1.14
全国	1.25	1.26	1.24	1.26	1.26	1.24

※令和6年12月以前の数値は、新季節指数により改定されています。

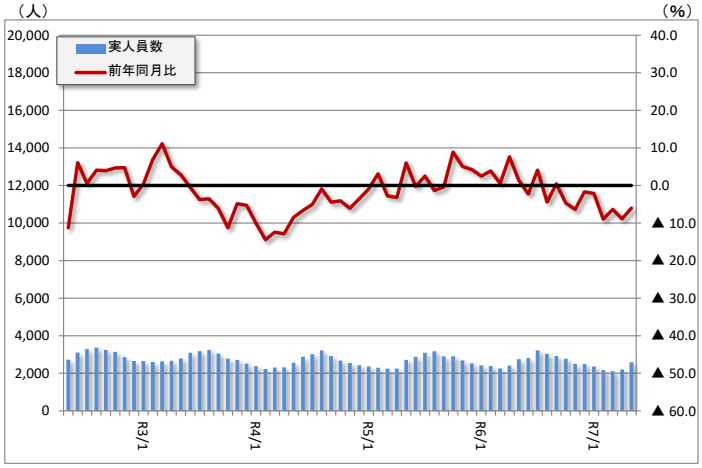
指標解説

・前月から繰越された数に新規の人数を加えた有効求職者数に対する有効求人数の割合で、求職者１人当たり何件の求人があるかを示すもの。

・一般に倍率が上昇しているときは、景気がよくなっていると言われている。

・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されている。

3 雇用保険受給者実人員（5月）



（高知労働局）

結果概要

＜全体＞
・2,584人。前年同月比▲6.0%。
・8ヵ月連続のマイナス。

（人・%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
受給者実人員	2,486	2,368	2,172	2,114	2,200	2,584
前年同月比	▲ 1.7	▲ 2.1	▲ 9.0	▲ 6.4	▲ 8.9	▲ 6.0

＜参考＞ （人）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
受給者実人員	2,854	2,901	2,746	2,621	2,681	2,630

※年度の数値は月平均。

指標解説

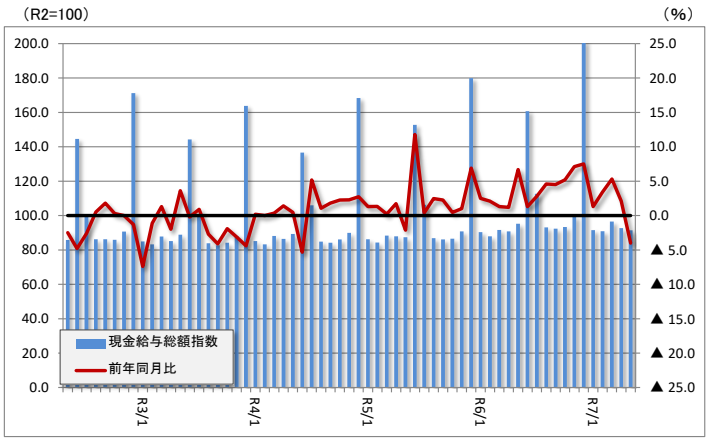
・失業給付を実際に受けた受給資格者の実数で、景気が良くなれば減少する傾向にある。

・景気動向指数の「遅行指数」の系列に採用されることが多い。

4 毎月勤労統計（5月）

［※毎月勤労統計
従業者数5人以上の事業所を無作為に抽出して雇用、給与、労働時間の毎月の変動を調べる調査。］

＜現金給与総額指数（名目）＞



（高知県統計分析課）

結果概要

「運輸業，郵便業」、「製造業」などで前年を上回ったものの、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「学術研究，専門・技術サービス業」などで前年を下回り、全体では24ヵ月ぶりのマイナスとなった。

＜全体＞
・91.4。前年同月比▲4.0%。
・24ヵ月ぶりのマイナス。

（R2=100）、（%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
現金給与	201.5	91.5	90.9	96.5	92.7	91.4
前年同月比	7.5	1.3	3.4	5.3	2.1	▲ 4.0

※　最新月は速報値。

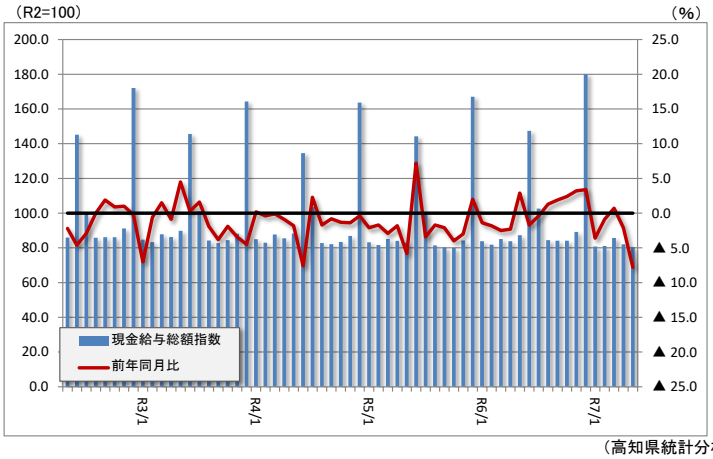
指標解説

・所得税、社会保険料、組合費等を差し引く前の総額。

※現金給与総額　きまって支給する給与（所定内給与、時間外手当）
＋特別に支払われた給与（ボーナス、精勤手当等）

・家計における消費の元手資金となる。

＜現金給与総額指数（実質）＞



（高知県統計分析課）

結果概要

「運輸業，郵便業」、「製造業」などで前年を上回ったものの、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「学術研究，専門・技術サービス業」などで前年を下回り、全体では24ヵ月ぶりのマイナスとなった。

＜全体＞
・80.5。前年同月比▲7.8%。
・2ヵ月連続のマイナス。

（R2=100）、（%）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
現金給与総額指数	180.1	80.8	81.1	85.7	82.0	80.5
前年同月比	3.4	▲ 3.6	▲ 0.9	0.7	▲ 2.1	▲ 7.8

※　最新月は速報値。

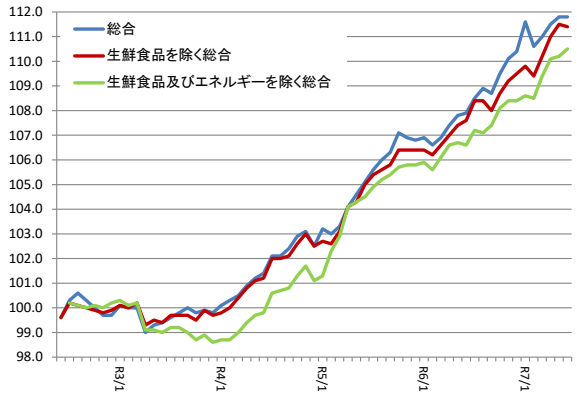
物　価

・総合、生鮮食品を除く総合、生鮮食品及びエネルギーを除く総合ともにプラスとなった。

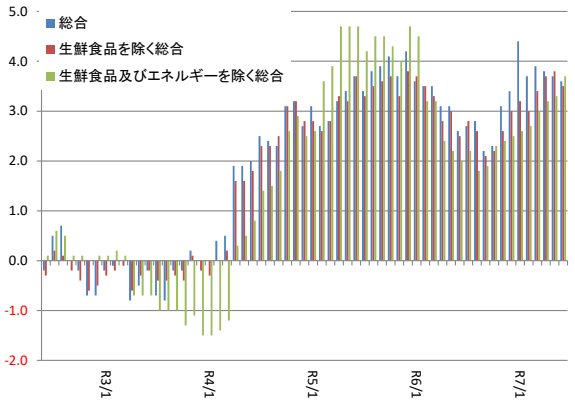
1　消費者物価指数（6月）

＜高知県＞(高知市消費者物価指数)　　総合、生鮮食品を除く総合、生鮮食品及びエネルギーを除く総合ともにプラスとなった。

指数の推移　（R2=100）



前年同月比の推移　（%）

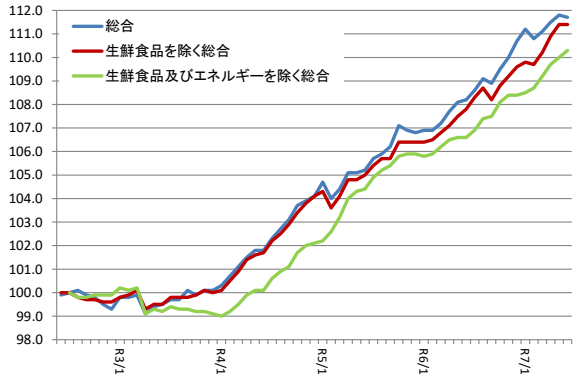


（高知県統計分析課）

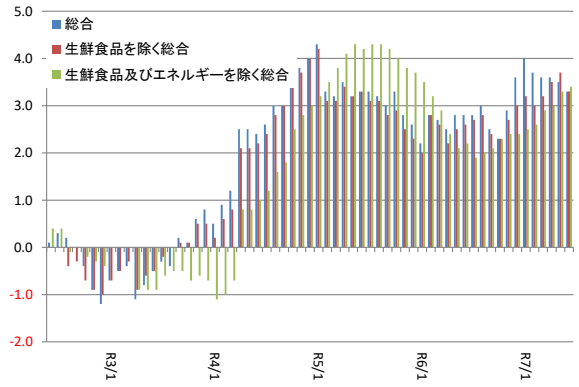
結果概要		指数	前年同月比
令和7年（6月）	総合	111.8	+3.6　%（41ヵ月連続のプラス）
	生鮮食品を除く総合	**111.4**	+3.5　%（40ヵ月連続のプラス）
	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	110.5	+3.7　%（39ヵ月連続のプラス）

＜全国＞　　総合、生鮮食品を除く総合、生鮮食品及びエネルギーを除く総合ともにプラスとなった。

指数の推移　（R2=100）



前年同月比の推移　（%）



（総務省統計局）

結果概要		指数	前年同月比
令和7年（6月）	総合	111.7	+3.3　%（46ヵ月連続のプラス）
	生鮮食品を除く総合	**111.4**	+3.3　%（46ヵ月連続のプラス）
	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	110.3	+3.4　%（39ヵ月連続のプラス）

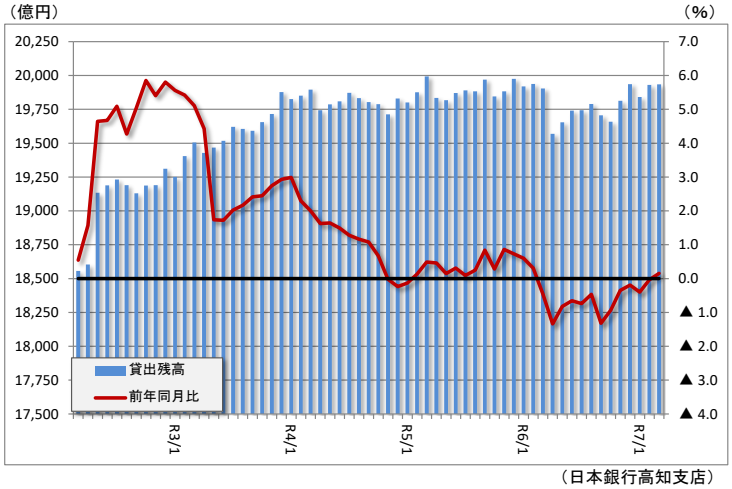
指標解説

消費者物価指数
・総務省の小売物価統計調査をもとに作成される代表的な物価指数の1つ。
・消費者が購入する商品やサービス価格を総合した物価指数で、特に天候などの影響を受けやすい「生鮮食品を除く」部分が注目される。
・景気動向指数の「遅行指数」の系列に採用されている。
・令和3年7月分の公表において、指数計算の基準となる年（基準年）が平成27年から令和2年に改定された。

金　融

・国内銀行の県内貸出残高は、プラスとなった。
・貸出約定平均金利は、前月差プラスとなった。

1　国内銀行の県内貸出残高（3月）



（日本銀行高知支店）

結果概要

＜全体＞
・1兆9,934億円。前年同月比＋0.2%。
・13ヵ月ぶりのプラス。

（億円・%）

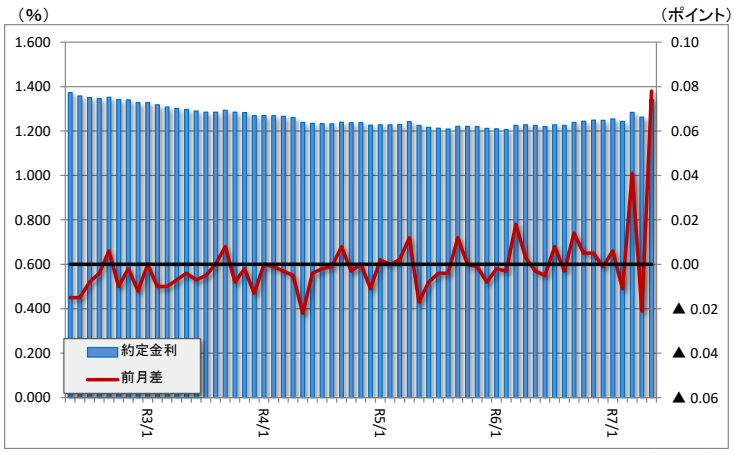
	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3
貸出金	19,658	19,813	19,936	19,840	19,931	19,934
前年同月比	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.0	0.2

指標解説

・高知県内に店舗を置く国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）、信用金庫、信用組合、農業協同組合、漁業協同組合およびその他の金融機関の貸出金の合計。ただし、国内銀行以外の金融機関について、高知県外に本店を置く金融機関は集計対象に含めない。

・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されることが多い。

2　貸出約定平均金利（5月）



（日本銀行高知支店）

結果概要

＜全体＞
・1.341%。前月差＋0.078ポイント。
・2ヵ月ぶりのプラス。

（%・ポイント）

	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5
約定金利	1.248	1.254	1.243	1.284	1.263	1.341
前月差	▲ 0.001	0.006	▲ 0.011	0.041	▲ 0.021	0.078

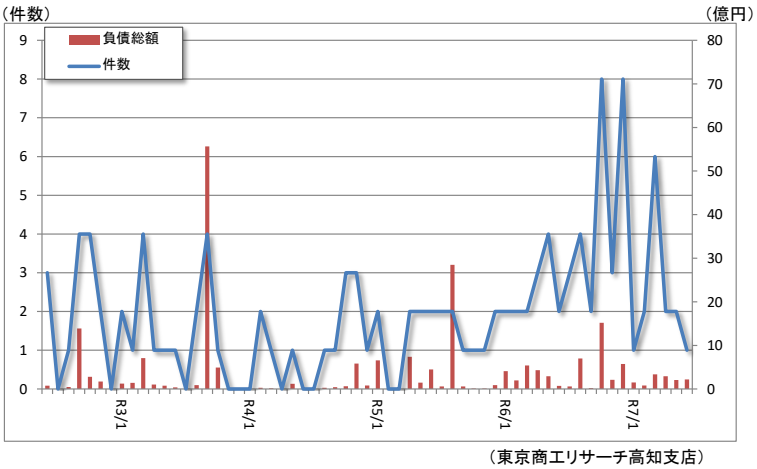
指標解説

・高知県内に本店を置く国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）、信用金庫の県内店舗分の貸出平均金利（ストックベース）を貸出金残高で加重平均したもの。

倒　産

・企業倒産は、前月比で件数は減少、負債総額は増加となった。

3　企業倒産状況（6月）



（東京商工リサーチ高知支店）

結果概要

＜6月＞
・1件。
・負債総額2億2,000万円。
**　前月比ベースの件数は1件減。**
**　負債総額は1,600万円増。**

＜5月＞
・2件。
・負債総額2億400万円。
**　前月比ベースの件数は同数。**
**　負債総額は9,000万円減。**

（件・億円）

	R7/1	R7/2	R7/3	R7/4	R7/5	R7/6
件数	1	2	6	2	2	1
負債総額	1.50	0.81	3.37	2.94	2.04	2.20

指標解説

・法的整理、任意整理の合計値（負債総額1千万円以上）。
・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されることが多い。